

発刊にあたって



北九州市では、2040年に向けてのまちづくりの方向性を示す「北九州市・新ビジョン」を本年3月に策定しました。時代や環境が大きく変化し、まちづくりの基盤となる人を育てる教育の重要性がいっそう高まっていく中で、「こどもまんなか」の教育を推進すると掲げています。

「こどもまんなか」とは、「こどもの視点や考え方を大切すること」と、「こどもたちを、社会を構成する存在として尊重すること」と考えており、この新ビジョンと歩調を合わせる形で、新たな「教育大綱」が4月に策定されました。

この教育大綱では、

- 1 全てのこどもにとって『居心地の良い学校』をつくる
- 2 失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境を作る
- 3 誰1人取り残さない学びと先端的な学びを進める
- 4 学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める
- 5 地域とのつながりの中で、社会全体でこどもを見守り、支え育てる

という5つの柱に基づいて、こども一人ひとりの中にある思いや考えに耳を傾け、それぞれの個性や多様性を尊重し、こどもたちが持っている可能性を最大限発揮していける、「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実を図ることとしています。

少子高齢化の進行、価値観・ライフスタイルの多様化、加速するグローバル化・デジタル化や地球温暖化など、こどもたちを取り巻く社会環境が複雑化・多様化しており、これからのこどもたちは、正解がない、不透明な時代を生きていくことになると言われてしています。

このような時代に必要となるのは、自分なりの価値観・哲学を持ち、周りの人への思いやりと多様性への深い理解を持ち、自ら課題を発見し解決する力を持つということです。そして、こうした力を身につけることが、自分の可能性を発揮してそれぞれのウェルビーイングを実現することに繋がり、そうした未来人材が社会に新たな価値を創造して、様々な社会課題を解決することで、社会全体のウェルビーイングの実現にも繋がっていく。

このような思いを込めて策定した教育大綱と、その実行計画となる「こどもまんなか教育プラン」は、教職員や保護者・地域・企業の方々、そして何よりもこどもたち自身が一丸となって取り組むための道しるべとなるものであり、これらによって、本市の教育がこれから新しいステージに入ることとなります。

教育現場の課題は山積していますが、新たな教育大綱と教育プランに魂を吹き込み、「こどもまんなか」の教育の「礎」を築くため、教職員や学校を支えてくださる関係者の皆さまと共に、全力を尽くして取り組んでまいります。

令和6年11月

北九州市教育委員会 教育長 田島 裕美